

科目名 周手術期看護援助論 時間割表記名 周手術期看護援助論	配当時期 2年次 後期 単位数 1単位 時間数 30時間(16回)	講義担当者 北野まどか 森川かの子 村上あゆ美 濱崎友実 (実務経験のある教員)	
事前学習内容 疾病論・治療論で学習した手術侵襲・麻酔侵襲とその生体反応について復習しておく。 事例で用いる疾患の病態・治療については復習して臨む。			
授業目標 1. 周手術期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解できる。 2. 術後合併症の予防について、また必要な看護を理解できる。 3. 事例を通して周手術期にある対象の看護過程の展開を学ぶ。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	手術を受ける患者の特徴 1. 周術期とは 2. チーム医療と看護師の役割 3. インフォームドコンセントにおける看護師の役割 4. 周手術期における危機管理 5. クリティカルパス 手術前患者の看護 1. 術前患者の特徴 2. 精神的・身体的準備	講義 グループワーク	テキスト①
2	手術中患者の看護 1. 入室時の看護 2. 麻酔導入時の看護	講義	テキスト①
3	3. 術直後の看護 4. 手術室の環境管理 5. 手術室における安全管理		
4	手術後患者の看護 1. 手術後患者のアセスメントに必要な知識	グループワーク 発表	テキスト①
5	1) 手術侵襲と生体反応、2) 創傷治癒過程		
6	2. 術後合併症の発生機序と予防 3. 手術後回復を促進する看護		
7	手術を受ける患者の看護(老年期) 【事例展開】	講義 演習	テキスト①②④ ⑤
8	1. 胃がん 胃全摘術手術を受ける患者の看護(老年期) 1) 情報の収集と整理(周手術期に必要な情報収集) 2) 事例のアセスメント①(麻酔・手術の侵襲と生体反応)		

9	3)事例のアセスメント②(手術を受ける老年期のアセスメント)	講義 演習	テキスト①②④ ⑤ *11回目 45分
10	2. 看護診断と看護目標		
11	3. 援助計画の立案		
12	女性生殖器手術を受ける患者の看護:乳癌 1. 妊孕性温存療法と意思決定支援 2. 手術後の観察・アセスメント 3. 身体の回復促進と合併症予防	講義	テキスト③
13	4. 手術後の障害に対する援助 1)不安 2)排尿・排便障害 3)機能障害 4)リンパ浮腫 5. 臓器喪失感の受容への援助 6. 本人・家族への退院指導・社会復帰支援		
14	女性生殖器手術を受ける患者の看護:子宮癌、卵巣がん 1. 発達段階に応じた看護 2. 内性器の診察・検査に対する援助(婦人科外来の看護) 3. 術前検査、術前説明		
15	4. 外来での継続治療:ホルモン療法、内服治療 5. パートナーへの支援 6. がん検診の定期フォロー		
16	試験(試験 45分)	試験(筆記)	
<p>受講上の注意</p> <p>○手術を受ける患者の看護においては、治療論で学んだ手術侵襲と生体反応の知識を活用する。</p> <p>○事例展開では、レポート評価とする。</p>			<p>評価方法</p> <p>筆記試験</p> <p>レポート</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院</p> <p>②系統看護学講座 専門分野 成人看護学5 消化器 医学書院</p> <p>③系統看護学講座 専門分野 成人看護学9 女性生殖器 医学書院</p> <p>④系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 臨床看護総論 医学書院</p> <p>⑤系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院</p> <p>参考文献</p>			